

実践『ペルソナ』通信 Side-*Be* (No.B-70)
「女子大生におけるハンドネイルの実態」に関する調査結果

実践女子大学人間社会学部 実践「ペルソナ」研究会は、実践女子大生を対象に、「ハ女子大生におけるハンドネイルの実態」について、「ポリッシュネイル」「ジェルネイル」「SNS 投稿」の視点から写真観察を実施しました。

※実践「ペルソナ」研究会は、実践女子大学人間社会学部における「統計学科（担当：竹内光悦）」、「経営学（担当：篠崎香織）」、「マーケティング（担当：斉藤明）」の3つの分野のゼミ生を中心に組織され、実践女子大学生が「自分たち自身」の消費活動、ライフスタイル等を科学する研究会です。

総括

観察の結果、ポリッシュネイルはコストが安く、バイトの休みの間やといった短期間に自身でネイルをするときに使用されるため短めの爪でシンプルなデザインが目立った。一方ジェルネイルは、ポリッシュネイルと比べるとコストはかかるが持ちがよく、ネイリストにやってもらうため凝ったデザインが多く爪の長さもそれぞれである。SNS の投稿ではジェルネイルを施している人が多く、ネイル単体での写真だけでなく化粧品を握ったり加工を施したりしているものも見受けられた。このようにジェルネイルとポリッシュネイルでの大きな差は、技術面と使用頻度であり、それがデザインやSNS の投稿に影響していると考えられる。

調査のポイント

(1) ジェルネイルは凝ったデザイン、ポリッシュネイルはシンプルなデザイン。

ジェルネイルとポリッシュネイルではジェルネイルの方がデザイン性の高いものが多い。デザインは大人っぽい落ち着いたものや、カラフルでかわいらしいものと様々である。ネイルストーンや押し花を使用しているものも多い。一方、ポリッシュネイルでは、単色で仕上げたシンプルなデザインが多い。このように、ジェルネイルとポリッシュネイルの選択の違いは、技術面の影響が伺える。

(2) 季節、イベントがネイルに影響。

デザインや色では、季節やイベントの影響が大きい。この写真では撮影した季節が分かりにくいですが、夏は透明な色を使用した涼しげなデザインや、ビタミンカラーが多い。対して、冬ではこっくりとした深みのある色が使用される傾向がある。また、イベントでは成人式にネイルをする人が多く、振袖にあった色味や華やかなデザインとなっている。A 面でのアンケート結果（図5）でも、色味はマニキュアを買う際にも最も重視されている結果が出た。そのため、季節やイベントとネイルのデザインは関連性があるといえる。

(3) 加工、化粧品やアクセサリを使用した SNS の投稿。

SNS に投稿する場合は、個人差が見られた。ネイル単体で写真を撮るだけでなく、何かをつかんで撮影する場合も多い。例えば、ブランドロゴの分かりやすいアイシャドウや香水、アクセサリである。セルフネイルをしている人は、使用したポリッシュと共に撮影する場合も多い。つかんでいる物の共通点は、片手でつかみやすい大きさ、シンプルなデザインであるという点である。また、ネイルの色味にあった背景や、

加工を施した投稿も多い。これらは、ネイル単体の投稿よりもネイルを引き立たせ、より写真を華やかにする役割を果たしている。

(4) ポリッシュネイルよりもジェルネイルの SNS 投稿率が高い。

SNS の投稿では、ジェルネイルの方が多く、観察の為に写真を集めた際もポリッシュネイルよりもジェルネイルの方が、過去の写真も含め収集率が高かった。SNS にネイルを投稿する理由としては、可愛いからみんなに観てほしいという心理が影響していると A 面で明らかになった。技術的に高いデザインであるため、ジェルネイルの方が多くなるのではないかと考えられる。

(5) ポリッシュネイルでは爪の長さは短めの人が多い。

爪の長さは指の形にあった短めにしている人が多い。ジェルネイルでは長い爪もみられるが、ポリッシュでは短い爪が大半である。これは、ポリッシュネイルをする人は、普段ネイルをすることが少なく、ネイルをしているのが短期間であること多いからであると考えられる。

調査概要

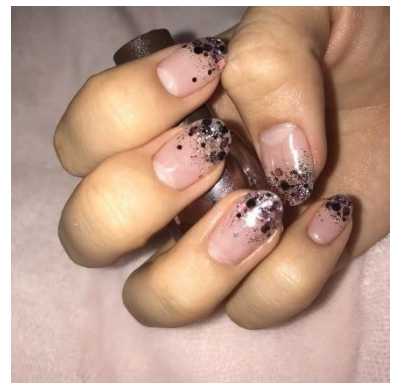
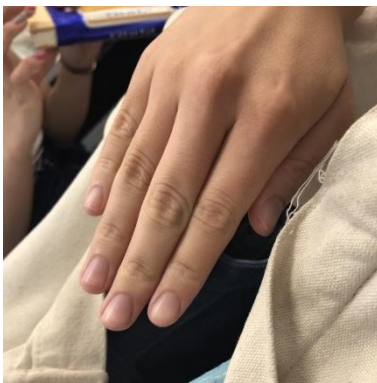
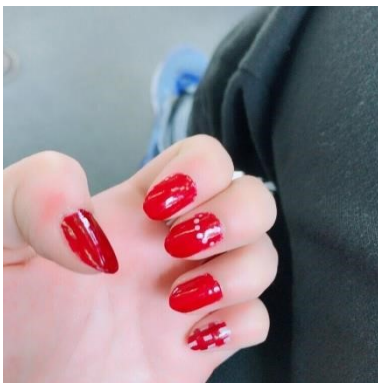
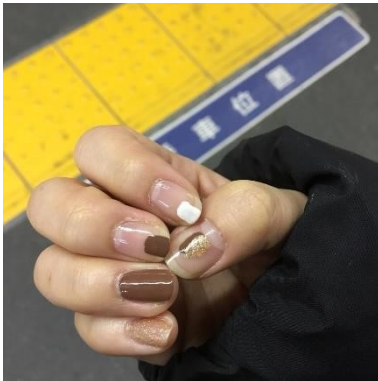
- 調査対象：大学生（女子）
- 調査方法：フィールドワークによる写真撮影法
- 調査期間：2017 年 6 月 16 日～6 月 30 日

本件調査担当

実践『ペルソナ』研究会
3年 青野朱里
岩崎菜々子
杉浦沙也加
関萌緑

調査結果

【ポリッシュネイル】



【ジェルネイル】





【SNS への投稿】

